

第 56 期  
年 次 報 告 書

(平成27年4月1日から)  
(平成28年3月31日まで)

fligan

---

愛眼株式会社

証券コード 9854

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成28年3月31日をもって第56期事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が見られるものの、中国をはじめとする海外経済の減速懸念に加え、実質所得の伸び悩みから消費者マインドの回復が遅れるなど、景気に対する先行きは不透明な状況が続いております。一方、眼鏡小売市場におきましては、お客様の節約志向が続くなか、同業者間の販売競争・価格競争が激しくなるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げた営業基盤を有効に活用し、顧客視点による商品開発とサービスの充実、営業体制の効率化を通じて、売上高の改善と収益力の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、眼鏡小売事業の販売強化が奏功し既存店売上高が回復に転じたことにより、売上高は16,563百万円（前期比3.6%増）と伸長し、売上総利益率は1.1%増となりました。一方、営業経費は、人件費などが増えたものの、広告宣伝費や改装経費などの支出を抑えることによって売上高に対する販売費及び一般管理費比率が2.2%改善いたしました。これらにより、営業利益は118百万円（前期は営業損失411百万円）、経常利益は210百万円（前期は経常損失341百万円）となりました。また、不採算店舗等の減損損失102百万円を計上したため、税金等調整前当期純利益は139百万円（前期は税金等調整前当期純損失1,143百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は43百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失1,237百万円）となり、営業利益から親会社株主に帰属する当期純利益に至るまで、8年振りに黒字化を達成することができました。今後ともお客様の支持が得られる店づくりの推進と一層のコスト低減に取り組み、さらなる収益基盤の強化に努めてまいります。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は次のとおりです。

### 【眼鏡小売事業】

当社グループの中核である国内眼鏡小売事業につきましては、平成24年に「NEW愛眼プロジェクト」をスタートさせて、メガネの専門店としてお客様に「快適な視力補正」を提供することを最大の使命とし、お客様の嗜好やライフスタイルに合った最適な商品を提供することを目指す「アイスタイリング・サービス」を掲げた事業戦略のもと、メガネ・レンズ一体の明瞭な価格表示とお買い得な価

格設定による「スマートプライス」の認知度向上に取り組んでまいりました。当連結会計年度は、今まで強化してきた商品、サービス、店舗、人材をはじめとする営業基盤を礎に、高齢化や健康意識の高まりなどの社会変化に対応し、従来から固定客の中心を占めるミドル・シニア層のお客様に照準を合わせた商品・技術・接客サービス面のアプローチを強化するとともに、お客様のニーズを取り込んだオリジナルブランド品の品揃えの拡大、各種マス媒体やTポイントを活用した広告宣伝などさまざまな営業施策にも注力してまいりました。

売上に関しては、ヤング・ニューファミリー層からミドル・シニア層までの幅広い年齢層のお客様のニーズを取り込んだ新商品の開発・投入と素材・機能面において高品質で付加価値が高い商品の品揃えの拡充により販売単価が改善し、売上高は堅調に推移いたしました。また、補聴器販売は、当社の強みであるコンサルティング力を活かした販売体制の強化が奏功して、好調に推移いたしました。一方、売上総利益率は、オリジナル品の商品構成の引き上げや高付加価値商品の品揃えの強化などを進めた結果、改善いたしました。

店舗に関しては、国内で当連結会計年度に5店舗を出店、11店舗を閉店し、4店舗で改装を実施いたしました。また、店舗と本部の業務プロセスの効率化・省力化を図るためPOSシステムを導入いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は15,639百万円（前期比4.0%増）、セグメント利益は163百万円（前期はセグメント損失356百万円）となりました。

#### 【写真館事業】

当社直営の「愛写館」3店舗による写真館事業は、子供から大人までの幅広い年齢層のお客様の記念写真や家族写真の撮影メニューを豊富に取り揃え、美容着付け、貸衣装もおこなう総合写真館を営んでおります。当連結会計年度におきましては、新入学、七五三、成人式、卒業式、結婚式など家族の記念イベントに合わせて実施したさまざまな集客施策がリピーターの増加に繋がりました。また、新商品では、「写真画像オールデータ販売プラン」と小学生の「貸衣装付き卒業記念プラン」が好評で、新規のお客様の増加に寄与いたしました。

この結果、写真館事業における売上高は、前期1月に2店舗閉鎖した影響もあり、199百万円（前期比0.7%減）となりましたが、セグメント利益は13百万円（前期はセグメント損失27百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長 下 條 三千夫

## 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第53期 (平成25年3月期)	第54期 (平成26年3月期)	第55期 (平成27年3月期)	第56期 (当連結会計年度) (平成28年3月期)
売 上 高(百万円)	16,150	16,996	15,988	16,563
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	△1,606	△ 198	△ 341	210
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	△3,729	△ 454	△1,237	43
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	△191.05	△23.43	△63.76	2.24
総 資 産(百万円)	18,903	18,568	17,429	17,334
純 資 産(百万円)	16,020	15,596	14,436	14,438
1株当たり純資産額(円)	825.40	803.56	743.78	743.90

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 21,076,154株  
 (自己株式1,667,474株を含む)  
 (3) 株 主 数 22,781名  
 (4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 従 業 員 持 株 会	1,089	5.62
愛 眼 共 栄 会	1,009	5.20
佐 々 栄 治	665	3.43
株 式 会 社 瑞	635	3.27
佐 々 善 二 郎	443	2.29
佐 々 千 恵 子	442	2.28
下 條 千 一	328	1.69
セイコーオプティカルプロダクツ 株 式 会 社	298	1.54
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	276	1.42

(注) 持株比率は、自己株式(1,667,474株)を控除して計算しております。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (H27. 3. 31現在)	当期 (H28. 3. 31現在)	科目	前期 (H27. 3. 31現在)	当期 (H28. 3. 31現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,964</b>	<b>8,035</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,802</b>	<b>1,742</b>
現金及び預金	4,702	4,749	支払手形及び買掛金	540	494
受取手形及び売掛金	753	760	1年内返済予定 の長期借入金	60	60
商品及び製品	2,355	2,261	未払法人税等	118	148
原材料及び貯蔵品	29	24	賞与引当金	—	54
その他	130	243	その他	1,083	986
貸倒引当金	△7	△5	<b>固定負債</b>	<b>1,190</b>	<b>1,153</b>
<b>固定資産</b>	<b>9,464</b>	<b>9,299</b>	長期借入金	285	225
<b>有形固定資産</b>	<b>3,155</b>	<b>3,128</b>	繰延税金負債	69	52
建物及び構築物	1,162	1,062	再評価に係る 繰延税金負債	6	6
土地	1,900	1,900	資産除去債務	350	339
リース資産	68	81	リース債務	298	359
その他	23	84	その他	179	171
<b>無形固定資産</b>	<b>—</b>	<b>169</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,993</b>	<b>2,896</b>
リース資産	—	138	<b>純資産の部</b>		
その他	—	31	<b>株主資本</b>	<b>16,702</b>	<b>16,745</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,309</b>	<b>6,000</b>	資本金	5,478	5,478
敷金及び保証金	3,883	3,715	資本剰余金	6,962	6,962
投資有価証券	1,686	1,607	利益剰余金	5,312	5,356
その他	739	677	自己株式	△1,050	△1,050
<b>資産合計</b>	<b>17,429</b>	<b>17,334</b>	その他の包括利益累計額	△2,265	△2,307
			その他有価証券評価差額金	160	124
			土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	45	39
			<b>純資産合計</b>	<b>14,436</b>	<b>14,438</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>17,429</b>	<b>17,334</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (H26. 4. 1～H27. 3. 31)	当 期 (H27. 4. 1～H28. 3. 31)
売上高	15,988	16,563
売上原価	5,079	5,082
売上総利益	10,908	11,481
販売費及び一般管理費	11,320	11,363
営業利益又は営業損失(△)	△411	118
営業外収益	148	147
営業外費用	77	55
経常利益又は経常損失(△)	△341	210
特別利益	0	33
特別損失	802	104
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△1,143	139
法人税、住民税及び事業税	98	95
法人税等調整額	△4	1
法人税等合計	94	96
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,237	43
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,237	43

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (H26. 4. 1～H27. 3. 31)	当 期 (H27. 4. 1～H28. 3. 31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81	△163
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	255	72
現金及び現金同等物の期首残高	1,647	1,902
現金及び現金同等物の期末残高	1,902	1,975

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概況 (平成28年3月31日現在)

商号	愛眼株式会社
本社設立	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号 昭和36年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。
従業員数	758名 (ほか平均臨時従業員数467名)
店舗数	眼鏡店 253店舗 写真館 3店舗
連結子会社	2社

## 役員 (平成28年6月29日現在)

取締役会長	佐々栄治
代表取締役社長	下條三千夫
取締役	菅野忠司
取締役	下條謙二
取締役	佐々昌俊
取締役	森重洋一
常勤監査役	叶雅文
監査役	吉岡一彦
監査役	山田吉隆

- (注) 1. 森重洋一氏は、社外取締役であります。  
2. 吉岡一彦及び山田吉隆の両氏は、社外監査役であります。

## 株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有 (但し、特別限定品は20%割引)	30%割引券2枚
[補聴器]	・100株以上ご所有 (但し、特別限定品は除く)	10%割引券1枚

## 株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日  
(2) 中間配当 9月30日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して  
基準日を定めます。

単元株式数 100株  
株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネット  
ホームページURL) [http://www.smtb.jp/personal/agency/  
index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

公告の方法 電子公告  
但し、事故その他やむを得ない事由によって  
電子公告による公告をすることができない場  
合は、日本経済新聞に掲載して行う。

上場証券取引所 東京 市場第一部

---

### <ご注意>

#### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>